

長湫地区北部自治会連合会

こあいさつ

長湫地区北部自治会連合会 会長 細萱健一

皆さん、こんにちは、連合会長の細萱です。

大変な世の中になってしまいましたが、皆さんには、お元気で過ごしてはいかがでしょうか。波乱万丈な今年も、間もなく過ぎようとしております。

誰が、一年前に、いや、今年の「新年あけまして、おめでとうございます。」と言っている時期に、今年が新型コロナウイルス感染によって、このような未曾有の事態になることを想像していたでしょうか。

学校も、本年2月末からの全国一斉休業を皮切りに、未だに昨年までの学校の姿に戻り切っていない状況です。

また本市における感染者も、3月27日に1例目が出て以来、4月7日の緊急事態宣言発令日には5例目、そして、この12月初旬には、70例目を超える状況となっております。

この様な時こそ、地域の繋がりを一層深め、このコロナ災害に立ち向かっていく必要があると思います。

言い古された言葉ですが、「三本の矢」です。一本の矢ではすぐ折れても、それが三本にまると容易に折れません。これのように、地域がまとまった時、より大きな力となります。

しかし、当自治会連合会の活動もこのような状況の下、自粛をせざるを得ないことから、大変申し訳ありませんでしたが、皆さんが楽しみつつ地域の絆をより深める色々な行事も、ほとんど中止とさせていただきます。

今後、新型コロナの感染が一時的に収束しましても、また次の感染拡大が繰り返し起こることも予想されます。新型コロナ対応のワクチンも急ピッチで開発されるなどしていますが、これから先、この新型コロナ感染から、いつ、どのように解放されるのか、わからない状況ではないかと思えます。

これからも、状況をみながら、当自治会連合会といたしましては、皆さんと一緒に、感染等に打ち勝つためにも、「地域の連携の密」をより強くするための活動を進めてまいります。

また、これとともに、ウィズコロナと言われてもおりますことから、今後どのような新しい生活様式の実践が良いのか等々、皆さんとともに考え、進めてまいりたいと思っております。

くどいですが、一人一人の連帯また連携が無ければ、どんな有効な策をもってしてもかありません。どうかよろしくお願い申し上げます。

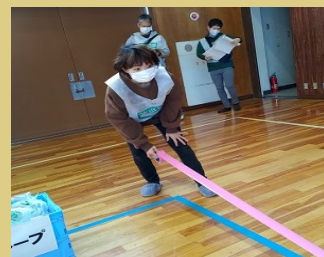
末筆で恐縮ではございますが、当自治会連合会の活動に対する、皆さんからのたくさんのご支援、ご協力に、あらためまして心から感謝、御礼を申し上げます。

本当にありがとうございます。

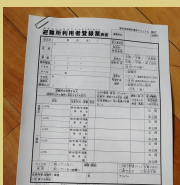
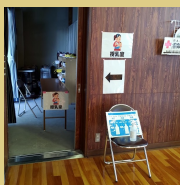


市内一斉避難所開設訓練

本年度の当自治会連合会の行事は、ほとんど中止とさせていただきますが、毎年恒例の市内一斉防災訓練は、例年とは形式を変え、11月15日（日）に自治会長さんと連合会役員等を対象に、避難所の設営訓練として実施いたしました。



訓練では、受付所・トイレ・ゴミステーション・授乳室等の避難所各施設の確保・設置や、段ボールベッド等を組み立てて個室ブースの設置を行いました。また、コロナ感染対策を意識し、手指消毒・健康チェックはもちろん、感染防止ガウンを着て実際の避難所受付のシミュレーションも行いました。



防災について

地震や豪雨といった災害は、いつ起こるかわかりません。本年度は例年のような全員参加の防災訓練を実施することはできませんでしたが、ぜひご家族で防災について話し合ってみてください。

特に、家族が離れ離れになったときの一時避難場所、避難所、連絡方法について確認しておきましょう。

一時避難場所

地震等の災害時に一時的に避難して、火災の様子や周辺の被害の様子をうかがう場所

→近所の公園

避難所

地震等の災害時、自宅が半壊や全壊するなどにより、避難が必要な場合に使用する場所

→小中学校、保育園
児童館、文化の家